

学校名	兵庫県立西脇高等学校
-----	------------

平成 28 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

cool Japan cool Bansyuori —播州織再発見と西脇産ブランド発信—

2. 研究の目的

- 1 播州織産地としての、伝統ある織物や昔ながらの職人技を再発見し、世界に誇れる技術や日本の文化、織物の文化を理解するとともに、企業で使用されている織組織制作コンピュータシステムを導入し、播州織生産の最先端技術を身につけた将来の播州織スペシャリストを育成する。
- 2 消費者のニーズを考え、播州織製品のプランニング・デザイン・リサーチ・マーケティング・プロデュースをする力を身につけた地域産業を担う将来のスペシャリストを育成することを通して、地域産業を活かした新たな「家庭に関する専門学科」の在り方を研究する。
- 3 播州織のすばらしさとともに、NSHブランド（西脇高校生活情報科ブランド）として、高校生の感性を活かして、地域で学んだ播州織技術と日本文化や西脇の文化を秘めたオリジナルブランドを世界に発信する。
- 4 播州織でつながる町づくりのすばらしさを再認識し、「播州織で織りなす町」を西脇高校から情報発信し、コミュニティづくりを行う。

3. 実施期間

契約日から平成 29 年 3 月 15 日まで

4. 当該年度における実施計画

上記の研究目的を達成するために、1 年目は、「基礎力」の習得を中心に研究を行った。「基礎力」となる 5 つの力(1)播州織の知識 (2)デザイン力 (3)製作技術 (4)言語能力 (5)日本の文化の理解 を身につけさせるための取組を進めた。

2 年目は、「思考力」の習得を中心に研究を行った。「思考力」をつけるための(1)マーケティングと商品開発 (2)織物文化の伝承 (3)新・播州織の提案 (4)情報発信 に取組んだ。1 年生では、日本の文化の理解から cool Japan を考察し、2 年生では、これまでに学んだ知識や技術を統合してグループで共通理解を図りながらブランド企画を実践し、3 年生では、「デザイン思考」の「ビジョン→共感→問題定義（課題）→創造（結論）→試作（行動計画）→検証」というプロ

セスを理解して、実践していく中で、柔軟な発想力や想像力、課題解決能力や協調性、責任感を養うことができた。

本年度は、「実践力」の習得を中心に取組を進めるため、Made in Japan や cool Japan を意識して、海外に向けたものづくりや西脇高校オリジナルブランドを提案し、播州織の海外発信を目指していく。また、播州織のテキスタイルデザインに限らず、様々な場面で、「デザイン思考」を取り入れ、ニーズや分析しながら、播州織を通じた地域の活性化やコミュニティづくりを考えていきたい。

(1) 海外に向けたものづくりーNSHブランドの発信ー

① グループに分かれてブランド企画を行い、各グループのブランドコンセプトにあった播州織製品を提案する。

・様々な研修を通して学んできた日本人としての感性を活かすとともに、播州織の最先端技術や特徴を取り入れ、素材・色・組織・加工等を産元会社と連携して企画デザインを行い、新しい播州織製品を提案し、布地からアパレル商品までを自分たちでデザインした「NSHブランド」の発信を目指す。

・“My favorite style”をテーマとして、シンプルでかっこいい系の「Stylish girl」、ビンテージをキーワードにした「レトロ」、少し大人っぽくかわいい系でカラフルな色にこだわった「My Color」、スポーティやカジュアルなイメージでチェックとデニムと組み合わせた「チェニム」(チェック×デニム)をブランドコンセプトに決め、それぞれのコンセプトに沿った播州織の提案やそれらを用いた服のデザイン等、NSHブランドの製作に取り組んでいく。

② 製作したNSHブランド作品を、国際フロンティア産業メッセ等の国際的な展示会に出展したり、ホームページを活用したりして、積極的に海外へ発信する。

・オリジナルデザインで製作した「NSHブランド」作品を、9月に開催される国際的な展示会への出展やインターネット配信などを通して情報発信を積極的に行うとともに、「NSHブランド」作品の販売方法等も検討する。

(2) SNSの活用

① SNSネットワークの特徴を活用して情報発信を考えると同時に、ホームページの充実を図る。

・卒業生や地域を巻き込んでネットワークを構築すると同時に、Facebook等のSNSを活用して情報発信を行う。

・常に新しい情報発信を行うための体制づくり等に計画的に取り組み、「西脇高校のホームページ」からの情報発信の充実を図る。また、SNSを通じてホームページのアクセス数増加のための取組を推進する。

(3) 地域のコミュニティづくり

① 生徒が主体的に企画から実践までをプロデュースしたコミュニティづくりを行う。

・播州織を軸に、商店街のイベント等を企画する「きらら商店街の活性化プロジェクト」や高齢者が活躍できる場所づくりとコミュニティづくりの拠点を考える「TUMAこいカフェ

プロジェクト」、地元で活躍するフラダンスチームの衣装製作等を体験的に企画する「フラ・プロジェクト」、『地元の駅を日本一に』を考える「西脇市駅プロジェクト」など、学習した「デザイン思考」の手法を用いて、地域活性化を目指した取組を企画・立案する等、高等学校と地域、行政が連携したコミュニティづくりを企画・提案・実践する。

(4) 家庭に関する学科の在り方の研究

① SPHに関連して取組んだ事業等における指導目標や指導方法、教材の工夫などについて、ファクターを分析し、その教育効果を評価して家庭に関する学科のこれからの在り方を提案する。

- ・様々な学校設定科目等の授業や行事等の実践に対する生徒の変容や教育効果の有無を明確にするためにファクター分析を行い、それぞれの活動と学習成果や教育効果との関連を分析する。どのような活動が高い成果をあげているのか、また、成果の低い活動に対してどのように改善すれば良いのかを検討し、家庭に関する専門学科としての効果的な活動を提案する。

② 高校と産業界、行政が連携して、地域に貢献できるグローバル人材の育成を図るモデルケースをつくり上げる。

- ・地域や産業界と連携して取り組む播州織に関連した学習を通して、家庭科の専門性を高めるとともに、地元への愛着をもった専門的職業人の育成を目指すためのカリキュラムマネジメントについて検討し、これからの家庭に関する学科の在り方を提案する。

- ・播州織に関連した学習を通して、世界を視野に入れた考え方や活動を学び、世界を念頭におきながら、地元および世界で活躍できるグローバル人材の育成を目指す。

5. 実施体制

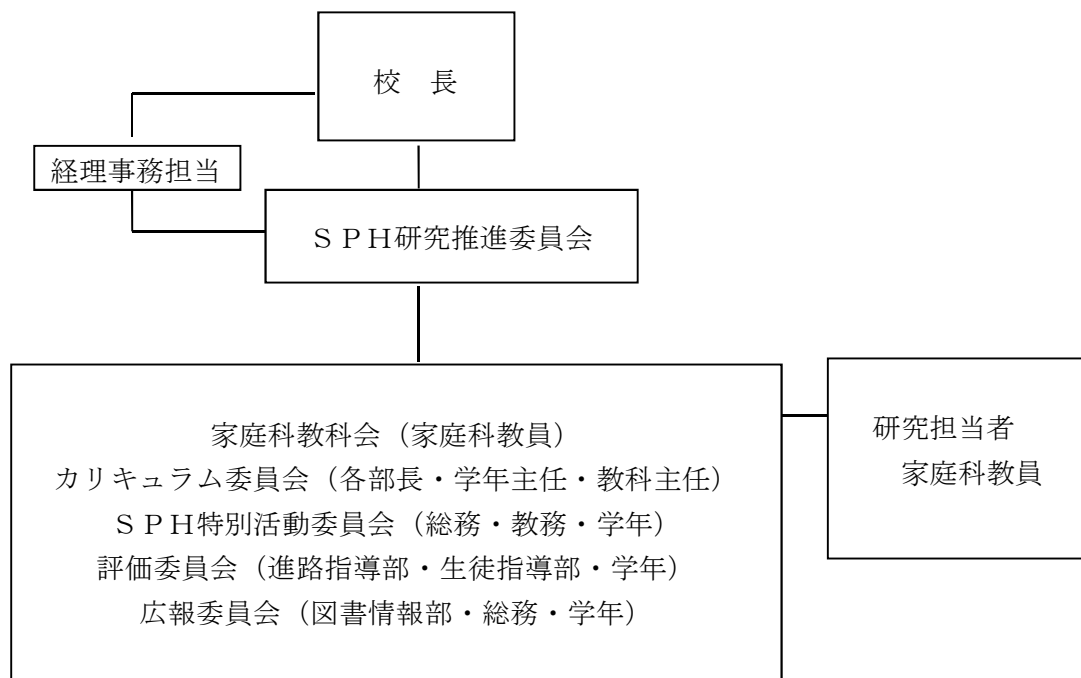
(1) 研究担当者

氏名	職名	役割分担・担当教科
松本 安博	主幹教諭	カリキュラムの調整・地歴・公民
藤原 容子	主幹教諭	全体企画・家庭
村上 尚之	教諭	地域産業連携・地歴・公民
常深まゆみ	教諭	コンピュータ管理・家庭
宮田 麻美	教諭	地域連携・家庭
富永真由美	教諭	商品開発・家庭
切鼻 絵里	臨時講師	商品開発・家庭
石古 敬子	主任実習助手	経理文書担当

(2) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
井上 真理	神戸大学 人間学科発達研究科	学識経験者
古谷 稔	兵庫県繊維工業技術支援センター長	関係行政機関
早崎 育子	西脇市総合企画課 課長	関係行政機関
戸田 雅人	西脇市商工観光課 課長	関係行政機関
齋藤 太紀雄	地場産業開発機構 理事長	関係行政機関
ひろいのぶこ	京都市立芸術大学・教授	学識経験者
岸上 龍平	神戸親和女子大学・教授	地域連携・マーケティング
山田 浩之	上田安子服飾専門学校・副校長	デザイン
田仲留美子	神戸ファッション専門学校・学生課長	デザイン
門脇 千里	兵庫教育大学大学院 客員准教授	学識経験者
清水 道子	県教育委員会高校教育課・主任指導主事	関係行政機関

(3) 校内における体制図



6. 研究内容別実施時期

※ 4. に記載した内容別に実施時期を記載

研究内容	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 海外に向けたものづくり－NSHブランド発信－	ブランド企画製作	テキスタイル提案	ファッションショー	製品化	インターンシップ・ファッションショー	国際展示会出展			ファッションショー			
2 SNSの活用	研修・情報発信	実践			検討				実践発表	記録まとめ		
3 地域のコミュニティづくり	プロジェクトの企画		イベント実践		イベント実践		イベント実践					
4 家庭に関する学科の在り方	指導計画と評価方法の研修				ファクター分析と評価			アンケート評価の分析				

※ 実施時期は、事業計画書提出時のものであり、実際の事業着手は契約締結後とする。

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目

8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

- () 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。
- (○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有 無

※有の場合、別紙3に詳細を記載のこと。

II 委託事業経費

別紙1に記載

III 事業連絡窓口等

別紙2に記載